

分野	授業科目	単位(時間)	進 度	担 当
専門分野	地域・在宅看護援助論II	2(45)	2年通年	山崎康代・齊藤洋子 外部講師 実務経験あり
科目目的	地域・在宅療養における医療管理や日常生活支援のために必要な看護技術の方法を理解し、看護過程の展開方法を学ぶ。			
科目目標	1. 訪問看護に必要な基本姿勢を習得し、医療管理の方法と日常生活支援技術を理解できる。 2. 事例展開を通し在宅療養者とその家族に必要な看護援助を理解し看護過程の展開方法を学ぶ。			
単 元 名	教 育 内 容	時間	教育方法	担当者
1. 地域・在宅看護の進め方 2. 在宅日常生活支援技術	1) 在宅看護における援助関係の基本 在宅看護の主体 マナー・コミュニケーション 2) 在宅看護に必要な技術 (1) 指導技術：患者、家族 (2) 相談対応技術 (3) 家庭におけるリハビリテーション 3) 居住環境の条件 4) 福祉機器・用具の種類と活用	6	講義 (ロールプレイ)	外部講師
	1) 食事 (1) 安全性、安楽、楽しみ (2) 食事に関するアセスメントの視点 (3) 経管栄養法の管理(胃瘻・腸瘻) (4) 中心静脈栄養法の管理(体外式・皮下埋め込み式)	2	講義	齊藤
	2) 排泄 (1) 快感を得るケア 羞恥心を与えないケア (2) 排泄に関するアセスメントの視点 (3) 膀胱留置カテーテル(自己導尿) ストーマの管理	2		外部講師
	3) 清潔・衣生活 (1) 工夫、安全、気分転換 (2) 清潔に関するアセスメントの視点 (3) 入浴(シャワー浴) 洗髪、部分洗浄 家庭にあるもので工夫した介助用具の作成 (4) 褥創の予防とケア	2		外部講師
	4) 活動・移動・休息 (1) 日常生活行為の援助 (生活拡大と安全のバランス) (2) ADL・IADLのアセスメントの視点 (3) 移動補助具(リフト等) (4) 生活リズム	2		外部講師
	5) 呼吸・循環 (1) 呼吸・循環のアセスメントの視点 (2) 在宅酸素療法 (3) 在宅人工呼吸療法 (4) 気管切開の管理と気管内吸引 (5) 排痰援助 呼吸リハビリテーション	2	講義	齊藤
6) 在宅における感染予防 (1) 滅菌器具・材料の滅菌・消毒	2	講義	齊藤	

<p>3. 在宅看護技術演習</p> <p>4. 在宅看護過程の展開</p> <p>5. 試験</p>	<p>(2) 医療廃棄物の処理</p> <p>7) 腹膜透析</p> <p>(1) 在宅COPDの援助</p> <p>8) ターミナル期の援助</p> <p>1) 在宅医療技術</p> <p>(1) 経管栄養 (経鼻経管栄養法) 経鼻胃チューブ挿入から流動食注入まで 本人・家族への指導も含む</p> <p>2) 在宅日常生活支援技術 (片麻痺患者を設定)</p> <p>(1) 洗髪 (物品作成も含む)</p> <p>1) 在宅看護の事例展開</p> <p>* 神経難病 (ALS) の在宅療養者</p> <p>(1) 在宅看護過程展開</p> <p>(2) 在宅看護のアセスメント</p> <p>(3) 在宅看護活動の目標、計画立案</p> <p>(4) 評価</p>	<p>4</p> <p>8</p> <p>14</p> <p>1</p>	<p>講義</p> <p>演習</p> <p>GW 演習</p>	<p>外部講師</p> <p>山崎</p> <p>齊藤</p> <p>山崎</p>
<p>テキスト/その他の教材</p>	<p>系統看護学講座 「地域・在宅看護の基盤」「地域・在宅看護の実践」 (医学書院)</p> <p>系統看護学講座 「基礎看護技術II」 (医学書院)</p>			
<p>評価方法</p>	<p>筆記試験 (外部講師 40点・齊藤 60点) とレポートなどから総合的に評価する</p>			